

平成18年度

新潟駅南口広場実施設計ワークショップ

基本設計がまとまった段階では、「実施設計が本当に基本設計どおりになるのだろうか？」という話も市民の間からは出ていました。こうした経緯もあり、基本設計から1年後の平成18年度に、新潟駅南口広場実施設計ワークショップが開催されました。

このワークショップでは、「基本設計とどういうところが変わっていて、それはどういう理由なのか」ということを、みんなで確認しつつ、できた後の「使い勝手」つまり「どう使うか」というところを、みんなで確認し、設計者に意見を伝えようというのがねらいでした。

3回のワークショップを通じて、「使い勝手」という面から様々な意見を出し合い、設計者に伝えました。そして、多くの意見が設計内容に反映されました。広場に整備されている給排水設備や電源設備、自動車の乗り入れができる構造等は、このワークショップで出された意見が反映されています。

第1回ワークショップ (H19.1.13)

⇒南口広場の使い勝手を確認しながら、実施設計にあたっての市民からの注文を出し合い、設計者に伝える。

第2回ワークショップ (H19.2.18)

⇒前回の市民意見を踏まえて作成した模型や図面を見ながら、市民・利用者という立場から、広場の使い勝手等を確認し、意見を出し合う。

第3回ワークショップ (H19.3.11)

⇒新潟駅周辺整備のこれまでの経緯を丁寧にふりかえる。
⇒南口広場実施設計(案)の内容を確認する。
⇒2年後のオープンに向けて、「広場の活用」「維持管理」等の具体的な方法について意見交換する。



3回のワークショップを経て作成された南口広場実施設計案

